

### ■ 環境家計簿の活用

消費したエネルギーから排出されるCO<sub>2</sub>の量を「見える化」する当社の「みらいくんの環境家計簿」を活用し、電気のみならず、ガス、水道、ガソリン等についても使用量削減に努めています。

WEB 「みらいくんの環境家計簿」は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > [みらいくんの環境家計簿](#)



当社ホームページ「みらいくんの環境家計簿」

## 4 省エネ・省資源活動の展開

社用車におけるCO<sub>2</sub>排出抑制やコピー用紙などの省エネ・省資源活動についても取組みを推進しています。

### (1) 社用車におけるCO<sub>2</sub>排出抑制への取組み

中長期的な地球温暖化対策の観点から、2020年度までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)の導入を目指しています。

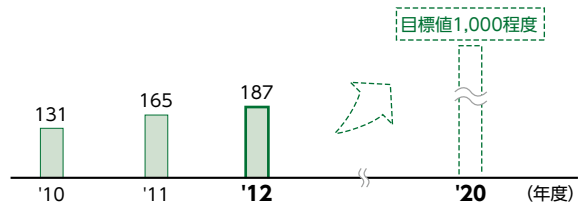
2012年度は24台を営業所などに配備し、一般車両約2,300台のうち、これまでの累計導入台数は187台\*となりました。

また、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などにより、一般車両の燃料消費率向上にも取り組んでおり、2012年度は、目標(12.0km/ℓ以上)を上回る12.4km/ℓとなりました。

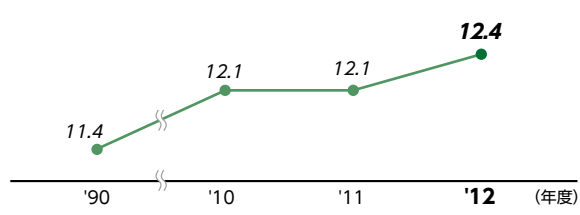
\*:電気自動車2台を廃車したため、2011年度(導入台数165台)からは22台の増加。

WEB 委託輸送に係る省エネへの取組みについては九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > [委託輸送に係る省エネへの取組み](#)

電気自動車導入台数(累計) 単位:台



一般車両燃料消費率 単位: km/ℓ



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 環境家計簿
- 地球温暖化
- 電気自動車
- プラグインハイブリッド車
- 低燃費車
- エコドライブ
- 上水

### ■ 電気自動車(EV)充電インフラ整備に関する研究開発

CO<sub>2</sub>排出抑制に向けた取組みとして、EVの普及促進に必要な充電インフラに関わる技術開発を推進してきました。

急速充電器は2006年度から開発・実証実験を実施し、2009年9月にグループ会社の九電テクノシステムズ(株)が販売を開始しています。

この急速充電器は、電源部と充電スタンド部を分離することで、充電スタンド部のコンパクト化を図るとともに、IDカード等による個人認証も可能とするなど、利便性向上を図っています。

また、2013年3月には、このIDカード等による個人認証に加えて、専用の携帯情報端末にイベント情報や防災情報などの配信が可能なシステムを装備した普通充電スタンドを開発しました。

[分離型急速充電器]



充電スタンド部 電源部 電気自動車と普通充電器(スタンドタイプ)

### (2) コピー用紙購入量・上水使用量の抑制

ペーパーレス化の推進や裏面利用、節水活動の徹底等により、「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」の抑制に取り組んでいます。

2012年度は「コピー用紙購入量」、「1人あたりの上水使用量」とともに2011年度を下回りました。

コピー用紙購入量、上水使用量の推移

